

# とちぎ市議会だより

第40号 (3月定例会)

2019.5.20



未来に向かって  
飛躍!

**特集**

- 平成31年度の予算が決定 ..... 2~3
- 予算特別委員会の設置 ..... 16
- 議会報告会の提言書手交 ..... 17

- 国保税を減額 ..... 4  
(3月定例会で決まったこと)
- 18名の議員が市政を質す ..... 6~14  
(一般質問)
- 表紙写真の説明 ..... 17

# 平成31年度一般会計 646億7000万円

## 連続で増加

予算の審査って、  
どんなかんじなの？

議案第1号  
平成31年度  
一般会計予算  
修正部分を除く原案

**可決** 賛成 25  
反対 3



みんなの税金が適切に使われる事業計画となっているか、  
本年から新たに設置された**予算特別委員会**を中心に、議長  
を除く全議員が4分科会に分かれて審査したよ。

### 質疑

幼年消防クラブ育成事業費

質 クラブの設置状況は

答 現時点において、幼年消防クラブの設置は無いが、本年4月以降に市内の認定こども園15園に設置していただく予定である。

質 近隣市の設置状況は

答 佐野市が22クラブ、鹿沼市が23クラブ、小山市が38クラブ設置されている状況である。

子育て短期支援事業費

質 今年度の利用状況は

答 佐野市と小山市の乳児院、及び、野木町の児童養護施設を利用した方が合わせて5人で、延べ35日利用した。

質 利用対象児童は

答 ひとり親が病気や出張で、一時的に保護者不在となる児童を対象としている。

小中学校就学援助事業費

質 就学援助費の変更点は

答 新入学用品費、修学旅行費が増額となり、新たに卒業アルバム費も対象となった。

### 質疑

通学路安全施設整備事業費

質 今年度の予算額と比較して大幅な増額となっている理由は

答 片柳町1丁目地内において約1kmにわたり薄層カラー舗装工事を予定しているためである。

議案第1号  
平成31年度  
一般会計予算  
修正案

**可決** 賛成 16  
反対 12

予算特別委員会において、広瀬委員ほか14名より、給食費の段階的無料化（1000円減額）に反対する修正予算案（減額なし）が提出され、賛成・反対それぞれの立場から討論が行われました。



### 討論

#### 賛成

給食費の無料化の前に、給食施設の老朽化が進んでおり、国の「学校給食衛生管理基準」を満たしていない調理場が多く存在し、この整備に多額の財政負担が想定される。学校給食調理場整備基本計画によれば2018年から2025年の8年間に5施設、約36億円が見込まれている。この予算は年間平均4.5億円となる。この整備こそ「安全安心の給食」を提供するために優先すべきである。

#### 反対

給食費の無料化に関しては、市長マニフェストの最も重要な施策であり、そのことを多くの市民が支持して大川市長を誕生させたことは、まぎれもない事実である。本市の財政状況は決して楽観視できないが、今回の給食費減額に関しては、完全無料化としたいところを、財政状況等を踏まえて、当分の間は段階的な無料化とする判断であるので、市議会としてもそうした判断は尊重すべきであると考ええる。

# 特集 予算審査

前年度比0.6%増

# 予算規模 2年

中学校洋式トイレ改修事業や、都賀・西方地域に建設予定のスマートインターチェンジをはじめ、2022年開催予定の国民体育大会の関連施設整備事業が本格化することから、一般会計当初予算案は2年連続で増額となりました。

市長からは、「新市発足10年目の節目となることから『未来へのリスタート予算』と位置づけたい」との説明がありました。これを受けて、議会では適切な予算編成となっているかどうかの審査をしました。

## 平成31年度 新規事業の一部を紹介

**市民憲章制定事業費**  
97万4千円



旧栃木市の市民憲章碑

**東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致活動事業費**  
178万6千円



ハンガリーの選手が事前来栃

**総合支所複合化整備事業費(都賀)**  
3008万7千円



老朽化した都賀総合支所を再整備

**子育て世代応援テレワーク推進委託費**  
1614万2千円



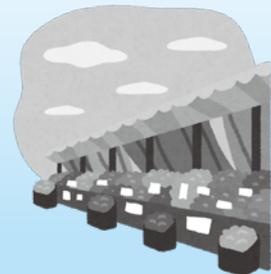
動画の作成や観光情報を発信

**繁殖牛導入促進支援補助金**  
150万円



畜産農家の経営安定化を

**「蔵の街シナジーマルシェ」委託事業費**  
412万5千円



蔵の街大通りの賑わいを

**林野火災対応資機材更新事業費**  
379万4千円



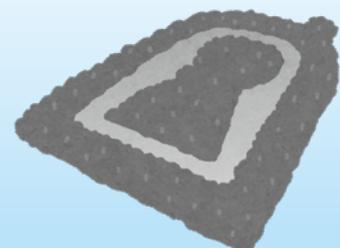
林野火災対応資機材を更新及び増台

**中学校部活動指導員等配置事業費**  
437万4千円



生徒の安全確保及び顧問の負担軽減を

**伯仲第一号古墳保存活用事業費**  
424万3千円



遺物の保存及び保護を

# 3月定例会で決まったこと (主な議案)

特集ページで取り上げたもののほか、3月定例会で審査した主な議案についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



## 1人当たり 4千円ほど減額に

議案第21号 栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

**可決** 賛成 26  
反対 2

### 議案の概要

国民健康保険税の税率及び課税限度額の改定を行うとともに、資産割額を廃止するに当たり、所要の改正を行う必要が生じたため、栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する。

### 質疑

#### 質 資産割を廃止する理由は

答 被保険者が市外に所有する固定資産を把握することが難しいこと、また、県が資産割廃止の方向性を

とっており、これに合わせ、段階的に税率を引き下げてきた経緯から廃止した。

### 質 国民健康保険財政の見通しは

答 平成32、33年は、税率を据え置き、基金の取り崩しで対応できると考えている。

### 反対討論

子どもをもつ家庭の負担軽減のため、収入のない子どもの均等割額を軽減すべきである。また、今回の改正で、税額が一人当たり、4千円ほど減額になるが、本来であれば、昨年度、大幅な引き下げが可能だったはずである。本市の保険税は県内他市町と比べても高く、市民にとってはかなりの負担になっているため、反対する。

## (仮称)文学館 建築工事

議案第33号 工事請負契約の締結について

**可決** 賛成 24  
反対 4

### 議案の概要

- 1 契約の目的 (仮称)栃木市文学館建築(市指定文化財「旧栃木町役場庁舎」改修)工事
- 2 契約の方法 事後審査制条件付き一般競争入札
- 3 契約金額 4億9464万円
- 4 契約の相手方 牧田・清田特定建設工事共同企業体

### 質疑

#### 質 建築単価が高額となった要因は

答 間もなく100年を経過する建物であり、耐震補強を行うとともに、既存部材を残しつつ、建築当時の意匠を復原する工事であるため、施工方法に制約が多く、効率化を図る余地が少なかったことが要因だと考えている。

質 落札業者と他の業者の入札金額が接近している要因は

答 予定価格が事前公表であり、各業者がこの価格を目安に価格設定をしたと思う。特殊な工法を加味すると、あまり安い金額では入札できなかったのではないかと考えている。

質 既存の階段を使用することの危険性は

答 建築当時の姿に復原することが前提となっているため、そのまま残すことになるが、エレベーターを設置し、安全に2階へ上がったいただくことを計画している。



(仮称)文学館の北側外観



1階の大広間

討論(議案第33号)

反対

本契約には4JV(共同企業体)が応札し、落札率は99.39%と非常に高い結果になった。建築価格は坪単価で約160万円。改修工事にもかかわらず非常に高い金額である。全国市民オンブズマン連絡会議によると、落札率95%以上は「談合の疑いが極めて強い」としており、本契約も談合の可能性が疑われる。

また、市内業者に限定した条件付き一般競争入札で、予定価格を事前公表することには問題があり、入札のあり方について見直しを求める。

賛成

そもそも今回の工事は、建築後まもなく100年を迎える建物の改修であり、文化財としての価値を保存するため、元の部材をできるだけ傷めずに復原することが求められるなど、他の工事には無い、文化財修理特有の事情が設計額を押し上げたものと考えられる。

一方、工事の予定価格は、実際の取引価格と乖離しないことが求められる、落札率が高いということは、実勢価格を適切に反映した設計がなされた結果とも考えられる。

本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、発言した議員名と討論が行われた議案番号は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 川上 均 議員 ●議案第1号(修正部分を除く原案および修正案)、第2号、第3号、第4号
氏家 晃 議員 ○議案第1号(修正部分を除く原案)、第2号、第3号、第4号 ●議案第1号(修正案)
内海 成和 議員 ●議案第1号(修正部分を除く原案および修正案)、第3号、第6号
関口孫一郎 議員 ●議案第1号(修正案)
小平 啓佑 議員 ●議案第1号(修正案)
白石 幹男 議員 ●議案第19号、第20号、第21号、第33号
松本 喜一 議員 ○議案第19号、第20号、第21号、第33号
広瀬 義明 議員 ○議案第1号(修正案)
針谷 正夫 議員 ○議案第1号(修正案)

議案等の審議結果

3月定例会では、議案46件、陳情書1件が審査され、その内、全会一致は38件、賛否が分かれた議案は9件でした。賛否が分かれた議案の名議員の賛否は以下のとおりです。

○=賛成、●=反対

Table with columns for bill numbers (1-30), names of members, and voting results (賛成/反対) for various bills.



千葉 正弘 議員  
創志会

合併前の状況を考慮して、公平性のある車検の発注を

合併により、各総合支所から本庁舎に人も公用車も移動してしまつた。

合併前の状況に戻せとは言わな  
いが、当時の状況を少しは考慮し、客観的な方法を考えて、公平性のある車検発注方法を検討し、実行していただきたい。

栃木市が元気であるためには、各地域が元気でなければならぬ。そのためにも、各地域にバランスのある車検発注をお願いしたい。

答弁 大川市長

地域に配慮した車検発注方法となるよう検討していく

車検の発注については、事業者が公用車を管理する場所に車両を取りに来ていただくケースが多い



本庁舎に集約した公用車

- 市民にやさしい窓口対応と利便性の向上を
- 栃木市公用車の車検発注方法の公平性
- 元号が変わることによる対応と費用
- 市県民税の申告と確定申告会場を集約することになったのは、ほか1問

ことから、移動距離が負担にならない近隣の事業者に依頼することが多く、このため、どうしても栃木地域の事業者が車検を受注する回数が増えている状況にある。  
しかしながら、地域を元気にする観点からも、各地域の事業者に配慮する必要があると考えるので、今後については、車両の集約を進め、さらに、集約した車両について地域に配慮した車検発注方法となるよう検討していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小久保かおる 議員  
公明党議員会

LGBTの方が相談できる環境と市の窓口の設置を

LGBTの当事者は全人口の7〜8%と統計上の数値がある。

LGBTの方々の背景には多くの人権問題があり、決してこれらの問題は少数の方の問題ではない。社会全体の問題として大きくとらえるべきだと思う。

また、職場や学校内で様々な課題に直面していると聞き及んでい  
るが、LGBTの方を孤立させない  
ためにも、相談できる環境と市  
の窓口設置について伺つ。

答弁 若菜生活環境部長

本人の気持ちに寄り添い、共に歩む姿勢で対応していく

LGBTに限らず性的指向・性自認にかかわる悩みについては、人権・男女共同参画課が相談窓口

- とちぎメディアカルセンターしもつが
- 本市における観光客の宿泊受け入れ体制の充実
- LGBT(性的マイノリティ)の方々への理解と支援

となり対応をしていきたいと考えている。

また、今年の3月末までに策定する「市職員及び教職員向けの多様な性を知りサポートするためのガイドライン」では、相談対応を重要なものと考え、市民、子ども、職場それぞれについて記載している。

また、今回のガイドラインについては、市内各小中学校すべてに周知し、全ての教職員が正しい理解のもと、本人の気持ちに寄り添い、共に歩む姿勢で対応していただくよう努めていく。



LGBTの象徴である6色の虹



青木 一男 議員  
明 政

### サッカースタジアム建設と 地域活性化との相乗効果を伺う

サッカースタジアム建設費は、栃木シティーユナイテッド側が約20億円から30億円の建設費を調達し、さらに飲食モールや寮、専門学校の整備なども考えているようである。

地域住民へ開放しての有効活用は地元の賑わいとなり、商業の活性化などが図られ、栃木市南西部の大きな発展につながると考える。

藤岡・岩舟・大平地域から栃木市中心部をつなぐルートでの活性化とどのように連携させていくのか。

答弁 茅原総合政策部長

地域を結び付けた取り組みを行い、周辺地域の活性化に繋げていきたい

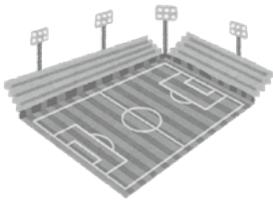
サッカー専用スタジアムが岩舟

- 外国人の受け入れ
- 企業誘致
- サッカースタジアム建設

総合運動公園に整備された場合、シンボリックな施設となり、サッカーの試合やイベントなどが開催されることで、多くの人が集う場所となる。

また、スタジアム整備地には飲食を提供するフードモール整備も併せて行うこととなるので、運動公園利用者の方々に多くの利便性が日常的にもたらされることとなる。

各地域の資源を結び適度な距離感を生かし、自転車での取り組みや、地域農産物を活かしたグルメ、体験の取り組みなど、地域を結び付けた取り組みを行い、周辺地域の活性化に繋げていきたいと考えている。



## 一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



入野登志子 議員  
公明党議員会

### おくやみコーナーを設置し、 窓口での負担軽減を

市民が大変な時こそ寄り添うために、おくやみコーナーの設置が全国的に広がっている。

親族が亡くなった後は、役所で多くの手続きが必要となる。この多くの手続きを一元的に受け付けてくれるのがおくやみコーナーである。

この、おくやみコーナーを本市においても設置できないか。

答弁 若菜生活環境部長

関係各課と協議しながら、  
研究を進めていく

現在、死亡届出受付の際に、その後必要となる市役所内及び他の機関での手続き一覧や、年金のお知らせ等をお渡しするなどして、スムーズに手続きが進められ

- 市民サービス向上
- 選挙の投票率アップを目指した取り組み
- マイナンバーカードの普及

るよう、丁寧な案内に努めているところである。

先進地の事例によると、おくやみコーナーの運用については、庁内における横断的な連携が必要となり、その都度、関係部署の職員がコーナーの設置場所に出向き、手続きを行うなど、事務の効率化の面から課題も残されている。

については、今後おくやみコーナーの設置も含め、全庁的な窓口ワンストップサービスに向けた取り組みの中で、関係各課と協議しながら課題解決に向け研究を進めていく。





古沢ちい子 議員  
公明党議員会

### オリンピックも見据えた 公衆トイレの改善を

観光客の皆様にも、旅先で快適に利用していただける、管理が行き届いた公衆トイレを「おもてなしトイレ」として、他県では特設サイトなどで紹介している。和歌山県では、周辺のボランティアの協力も得ながら実施している「和歌山おもてなしトイレ大作戦」が大変好評で、リピーターも増えている。オリンピックや国体を控えており、外国人のニーズなども考慮した公衆トイレに改善すべきと考えるが、執行部の意見を伺う。

答弁 高崎産業振興部長

国や県の補助制度等を活用し、おもてなしの向上を図っていく

本市の蔵の街周辺においても、蔵の街第1駐車場のトイレを洋式

○歴史的資源を利用したまちづくり  
蔵の街観光・「おもてなしは、快適トイレ」を目指しては

化し、本年度は、うずま公園に新規で多目的トイレを設置するための工事に着手している。

今後は、先進地の事例を研究し、整備や管理体制の検討を行ってきたい。

また、国においてはオリンピック開催年である2020年までに官民一体となって各種取り組みを進めており、本市においても、洋式化など誰もが快適に利用できるトイレの充実化が求められている。

今後も、国や県の補助制度等を活用しながら、おもてなしの向上を図っていく。



## 一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



氏家 晃 議員  
栃木未来

### 教職員の負担軽減のため、 学校への人的配置を

現在、学校の先生方の長時間労働が問題視されている。市内全教職員への調査結果によると、国の過労死ラインを超えて時間外勤務をしている教職員が4割（中学校教諭に限ると7割）近くいることが分かった。

これらの結果を踏まえ、「栃木市版 先生の働き方改革ガイドライン」が策定された。本ガイドラインにある「学校への人的配置」について、具体的にどのような施策を行うのか。

答弁 高橋教育部長

「スクール・サポート・スタッフ」と「部活動指導員」を配置する

「スクール・サポート・スタッフ

●「栃木市版 先生の働き方改革ガイドライン」  
○アフターDCの取り組みと今後の観光振興  
○改元にもなう本市の対応

フ」は、特定の児童生徒や学級等を支援するために配置される「学校支援員」とは異なり、あくまで教職員の労働負担を軽減するため配置するもので、主にプリント印刷や授業準備の補助、職員室での電話対応等の業務を行う。

「部活動指導員」は、練習での単独指導や大会参加生徒の引率、また大会での運営スタッフを担う。

本市の中学校教諭が、多忙化の業務内容の要因として一番多く挙げたのが部活動である。この「部活動指導員」の配置が進めば、教職員の負担軽減に大きく寄与するものと考ええる。



教職員の働き方改革に  
大きな一歩を



広瀬 義明 議員  
無会派

給食費無料化のために社会的弱者への個人給付を見直すのか

市長公約の給食費無料化は財源確保が課題であり、恒久的な財源を求め、既存事業の見直しを図られ始めている。併せて検討している個人給付の見直しは大変遺憾である。一律負担軽減となる給食費無料化の財源に、個人給付の所得制限を見直しするとはいかなものか。こども医療費助成、重度心身障がい者医療費助成、妊産婦医療費助成、就学援助制度等を見直してまで、今後も給食費無料化を進めていくのか。

答弁 杉山財務部長

全ての事業を見直すものではない

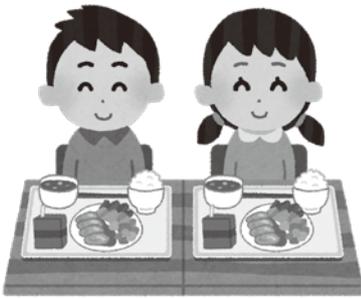
給食費無料化における財源の内訳としては、市長報酬の削減、(仮称)文化芸術館等整備事業な

- 有害鳥獣の利活用
- 各地域の運動公園整備運営
- 給食費の無料化

どの既存事業の見直し、ふるさと納税寄附金、人件費の抑制分等としており、当初予算編成の全体の中で確保しているもので、他の予算編成に負担をかけて措置したものではない。

また、第2次行政改革大綱・財政自立計画に基づく行政改革を進めており、無料化のために増税や市債の発行を行うものでもない。

さらに、個人給付の見直しについては、対象事業の全てを見直すものではないのでご理解いただきたい。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



針谷 育造 議員  
創志会

任期中の給食費無料化が困難であるならば、公約を訂正すべきである

市長の公約は「その志は良し」とするが、その実現には財源等に問題がある。

市長報酬30%削減、既存事業の見直し、ふるさと納税寄附金、人件費削減等の財源は極めて不安定であり、恒久財源とは思えない。

給食費無料化が、市長任期中に本当に出来るのか疑問である。

公約実現が困難と判断されたときは、「公約の勇氣ある訂正」をすべきと思うが、市長の考えを伺う。

答弁 大川市長

まずは新たな財源を確保する努力をしていきたい

既存事業の見直しでは、太陽光

- 市長公約
- 栃木市水道ビジョン素案
- 栃木市歴史的風致維持向上計画

発電の設置補助額を変更する予定で、こちらは恒久的な財源と言える。

また、ふるさと納税についても、毎年基金からの繰入れがあるので、こちらも恒久的な財源と言える。

職員の人件費削減については定数の適正化も踏まえて実行していく。

公約については一気に実施していきたくところではあるが、財政的な負担がないように段階的に実施していく。任期中の4年間で実施したいと考えているが、まずは新たな財源を確保する努力をしていきたい。





松本 喜一 議員  
栃木未来

### 市は空き家の解消にどのように取り組んでいるのか

本市では、住宅課が設置され、地元の自治会と協働しながら空き家の解消に取り組んでいるが、空き家の所有者に対してどのような対応を行っているのか。また、現在までの実績についても併せて伺う。

【答弁】 大川市長

### 法律や条例に沿って、空き家の適正管理を広く呼びかけていく

空き家の活用を促進するためには、空き家を早期発見し、老朽化が始まる前に活用のレールに乗せることが重要である。

そこで、本市では、昨年度の国のモデル事業として、自治会と連携し、新たに発生した空き家の情報を市に寄せていただき、市が所有者や相続人を調査した上で、空

- 本市における空き家対策
- 耕作放棄地も含めた空き地対策
- 非正規職員の対応

き家バンクへ誘導するという流れを構築し、今年度も実施しているところである。

その一方で、長年放置されたことにより、老朽化が進行して活用できなくなった空き家については、平成27年度から解体費に対する補助を開始し、年間100件を越える実績が続いている。

放置された空き家は、周辺の住環境を悪化させる原因となるので、所有者が責任を持って管理するよう、法律や条例に沿って、空き家の適正管理を広く呼びかけ、快適な住環境の維持に努めていく。



空き家の解消に取り組んでいる住宅課の窓口

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



福富 善明 議員  
明 政

### なぜ藤岡地域の申告会場が廃止になったのか

市・県民税の申告会場が改善され、藤岡・都賀地域の会場が廃止されたが、高齢者の利便性のために申告会場までの距離を考え、安全性を確保したうえで、藤岡地域に申告会場を再設置できないか。

【答弁】 杉山財務部長

### 来場者の利便性の向上や高齢者等の安心安全の確保を優先した

藤岡地域においては従前の会場であった藤岡中央公民館が2階で受付していたため、階段を利用しなければならぬ状況であったほか、トイレが近くにない、そもそも会場が分かりにくいなどの意見があった。

また、申告会場を設置するにあたり、本庁舎とのデータ通信設備

- 市・県民税の申告
- 地域経済の活性化

が必要になってくるが、藤岡地域で設備を確保できるのは、藤岡総合支所と藤岡中央公民館、部屋地区公民館の3カ所だけになる。

総合支所には申告者を十分に収容できるだけのスペースがなく、部屋地区公民館は位置が東に寄っているため、藤岡地域の会場を廃止して、大平と岩舟の会場に集約した。

会場を集約することで受付職員の人数が増え、申告会場での待ち時間短縮が図られ、結果的に市民の方の利便性につながると考える。なお、今回の改善に関して市民から意見があった際には、再度改善を検討していく。





福田 裕司 議員  
創志会

本市の公用車の現状は

栃木市は3度の合併を経て現在に至っている。それに伴い、財政負担圧縮の観点から、公用車の保有台数、経費、稼働率等を踏まえた適正配置が求められる。

現在の本市における公用車の保有台数、年間経費、平均稼働率の状況について伺う。

答弁 杉山財務部長

不必要な公用車の売却等を進め、適正配置に努めたい

現在の本市の公用車の保有台数は、本庁管財課や、各総合支所の地域づくり推進課で管理し、各課に貸出しを行っている共用車が84台、各課が所有している専用車が349台で、総保有台数は433台となっている。

燃料費などの年間経費について

● 公用車の適正配置の検証  
○ 栃木市成年後見事業の現状と今後の対応

は、共用車での比較で、平成29年度は1546万円となっており、平成24年度と比較し、車両は1台増加しているが、経費は413万円の減となっている。また、平均稼働率については、共用車で算出したところ、平成29年度の本庁は約76%、各総合支所は約66%となっており、平成24年度と比較して、本庁は21ポイントの減少、各総合支所は14ポイントの減少となっている。



大平総合支所の公用車駐車場

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



天谷 浩明 議員  
誠心

介護問題解決に向けて意見を聴き、よりよい関係づくりへの支援を

在宅介護においては、老老介護、介護のための離職、介護にあたる女性への負担増等の現状があり、介護を受ける方やその家族は、様々な不安を抱えている。

また、施設・訪問介護においては、介護士・介護ヘルパー等の人材不足による担当者の負担増大など、介護支援における様々な問題も発生している。

これらの問題や、それぞれの思い・考えに対し、どのように対応していくのか。

答弁 藤田保健福祉部長

それぞれの立場に立った介護サービスの実現に力を注いでいきたい

○ 農業を守る事  
● 介護の現場

介護の現場では、介護従事者とサービス利用者それぞれが、思いを内に秘めることなく、積極的に意見を出し合い、相互に尊重し合う関係を築くことが大切である。市としては両者の意見をしっかりと聴き、風通しの良い関係づくりを進めることが必要であると考えている。

市内各地域には、地域包括支援センターを設置しており、同センターにおいてこれまで以上に、関係者の声を聴き、その声の共有、ネットワーク化に努めたい。

さらに、事業者の安定的な運営、従事者の処遇改善や相談の場の確保、利用者やご家族からの意見聴取機会の確保に努め、それぞれの立場に立った介護サービスの実現に力を注いでいきたい。





川上 均 議員  
日本共産党栃木市議団

**水道料金20%値上げ案は根拠が薄く、検討が必要**

「栃木市水道ビジョン」（素案）は、水道料金を20%値上げするために、水道事業の借入金と料金収入の比率を250%にする目標を設定している。

しかし、隣の佐野市では、本市と同じく、水源を100%地下水としているが、借入金と料金収入の比率は500%で、借入額は大きいですが、経営的には心配なしとしている。

借入れは少ないほうが良いが、その比率を値上げの根拠にするべきではないと考えるが、見解を伺う。

**答弁** 牧野上下水道局長

**借入額を抑え、残高を減少させることは健全経営の基本と考える**

- 「栃木市水道ビジョン」（素案）（仮称）子育て支援施設「子どもの遊び場」整備事業

地下水のみを水源としている類似事業体の借入金と料金収入の比率については、平成27年度の平均値が320%程度と想定できる。

しかしながら、水道事業体を分ける区分は水源のほかにも、水質浄化方法や施設数、管延長などがあり、それらを加えた場合は、また違った比率となる。

また、企業債の借入額を抑え、残高を減少させることは健全経営の基本であり、結果的に水道料金を低く抑えることにもつながる。

このようなことから、現在の給水人口規模による類似団体平均値250%を参考とすることが一般的と考える。



安さとおいしさが求められる水道水

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



浅野 貴之 議員  
誠 心

**産前産後ケア制度の創設を目指しては**

本市はこれまで産科設置に向けて、とちぎメディカルセンターや市医師会等の関係機関と、協議・検討を進めてきた。これまでの協議の内容と、進捗状況について伺う。

また、医師不足の状況等から、医療圏ごとこの連携が必要と考え

る。分娩施設の産科ではなく、本市独自の妊産婦ケア制度の創設を目指す考えはあるのか。

**答弁** 藤田保健福祉部長

**妊産婦の相談体制や産後ケア事業の一層の充実を図りたい**

昨年7月、市医師会、とちぎメディカルセンター、県の協力のもと、「栃木市産科等開設検討会」を設置し、産科開設に限ることな

- 産科設置の進捗状況
- 未来に向けたまちづくり

く、あらゆる方策を検討した。

その中で、医師等スタッフの確保が困難なこと、とちぎメディカルセンター内に産科の設備がないこと、下都賀周産期医療圏における地域周産期医療機関の位置づけは新小山市民病院であること、緊急時の医療機関との連携など、様々な課題が挙げられた。

また、適切な周産期医療を提供するためには、医療機関の機能分化と一層の連携が重要であり、高度な医療を提供し医療事故リスクを減らすためには、分娩の集約化が必要であるなど、貴重な意見もいただいた。

これらのことから、現時点では、とちぎメディカルセンターへの産科設置は困難な状況であり、まずは、環境整備の一環として、妊産婦の相談体制や産後ケア事業の一層の充実を図り、子育て世代のニーズに応じた支援を行っていきたい。



内海 成和 議員  
創志会

運営主体も決まっておらず、ハコモノありきである

子どもの遊び場は、基本計画もないまま建物建設だけが決まっている。今までの議論では、対象者は乳児から小学生程度までであったが、今回、児童館として建設するとなっている。児童館は法的な縛りがかり、対象者も0才から18才までになる。また、遊具の種類などによって建物の規模も変わってくる。子どもに関する施設で運営主体も決まっていない。こんな状態で市民の理解を得られると考えるか。

答弁 松本 とも未来部長

すでに子育て世代からは様々な意見をアンケートでいただいている

子どもの遊び場については、議

- 投票時間の短縮
- 子どもの遊び場
- 栃木市における障がい者雇用
- 入札格付け変更問題
- オリン晁電社跡地問題のその後

員研究会や民生常任委員研究会等も含めて6回ほど議員には説明し、ある程度の理解は得られたと考える。平成28年9月の議員研究会で大型児童館として整備基本方針を説明しているが、児童館を建設するにあたり、特殊な施設や設備が必要になる訳ではない。また、平成30年6月の議員研究会では変更等も含めた基本計画を示している。市民の方の意見についてもこれからパブリックコメントを実施するが、すでに子育て世代からは様々な意見をアンケートでいただいている。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



森戸 雅孝 議員  
栃木政策研究会

共生型社会が求められている  
今日、認知症の方々への支援を

他市の事案であるが、認知症の高齢者が第三者にけがをさせたり、物を壊したりして、家族に損害賠償を求められるケースが発生し、最高裁まで争われた。結果、賠償責任は免れたものの、今後、市に登録された方々を対象に、市が保険料を負担し、個人賠償保険に加入する施策を講じる必要があると考える。

本市においてそのような施策を取り入れる考えはあるのか。

答弁 大川市長

賠償保険制度導入に向けた検討を開始した

来るべき地域共生社会の到来に向け、福祉分野全般を網羅した「栃木市地域福祉計画」を、来年

- 認知症
- ふるさと納税

度改定する予定である。その改定に合わせ、認知症の取組みも盛り込んだ「栃木市成年後見制度促進計画」の策定も予定している。

その際、認知症高齢者増大に対応するための確な対応を図るため、これまで様々な取り組みを進めてきた認知症施策を整理、体系化することにより、市民全体で認知症に寄り添える、認知症に理解の深いまちづくりを進めたいと考えている。

提案の賠償保険制度は、全国的にも注視すべき事案が多く、本市としても、制度の必要性は認識しているため、制度導入に向けた検討を開始した。





白石 幹男 議員  
日本共産党栃木市議団

### 子どもの国保税(均等割)の軽減を

県から平成31年度の国保事業費納付金と標準保険料率が示され、それに基づき本市の国保税も31年度から資産割を廃止し、所得割、均等割、平等割の3方式となる。全体では若干の引き下げとなるが、均等割だけは引き上げとなる。均等割は人頭税的なもので他の医療保険にはない。特に子育て中の家庭にとっては大きな負担となっている。18歳以下の子どもの均等割については、減免制度をつくり、負担軽減を図るべきだ。

#### 答弁 若菜生活環境部長

国の責任において財源措置を行うよう、引き続き国に要望していく。国民健康保険税の減免については、天災その他特別の事情のある

- 国民健康保険
- 就学援助制度

場合や貧困により生活のために公私の扶助を受ける者などに限り、減免することができる。とされている。

いずれの場合も、納税者の担税力に着目し、個別に減免の可否を判断すべきものであり、単に子どもがいる世帯や所得が一定以下の世帯というような画一的な基準により減免の範囲を指定することは、好ましくないものとされている。

しかしながら、子どもの均等割額については、被用者保険には無い制度であり、子育て世帯の負担軽減を図るためにも、国の責任において財源措置を行う必要があると考えているので、引き続き国に要望していく。

#### 2019年度からの国保税

区分	所得割	均等割	平等割
医療給付費分	8.20%	32,300	23,800
後期高齢者支援分	2.60%	10,200	7,500
介護納付分	2.40%	12,900	6,000
合計	13.20%	55,400	37,300

所得割：加入者の総所得×上記税率  
 均等割：加入者1人あたりの税額  
 平等割：1世帯あたりの税額  
 ●40歳代夫婦、子ども2人、所得300万円の場合  
 国保税は年間58万5400円

## 一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



針谷 正夫 議員  
弘毅会

### 不登校の子どもたちが安心して学べる環境を

本市では約200名の不登校の子どもとその関係者の方が苦しんでいる。

しかし、現在は教育機会確保法ができ、文部科学省も「不登校が悪いという根強い偏見を払拭」と明言し、全国に通知しており、この法律の趣旨を周知徹底すべきと考える。

不登校問題で一番大切なことは「ありのままを受け入れる」ことだ。不登校対応の適応指導教室の今後のあり方について伺う。

#### 答弁 青木教育長

立地場所や設備などの充実をより図れるよう、現在、検討している

教育機会確保法の周知について

- 不登校
- 栃木市北部地域振興に関する提言書
- 都賀西方スマートインターチェンジ周辺の整備促進
- 西方地域の中心地区形成

は、平成29年1月に、市内各小学校長に向け、文書にて、教職員への周知を図るよう指示をした。

不登校問題で大切なことは、未然防止、早期発見、早期対応、そして、個々のケースに応じた段階的で適切な支援であり、「学校復帰をせかさなさい」ことも重要な考え方のひとつであると捉えている。

適応指導教室の今後については、国が教育機会確保法のあり方や基本指針の見直し作業を進めているときいているので、その動向に注視しながら、既存の立地場所や設備等については、より充実を図れるよう、現在、検討している。



高根沢町にある  
フリースクール「ひよこの家」



## モニターインタビュー (No.11、12)

今回はスペシャルバージョンで2名の方にご登場いただきました。

紙面を充実させるためのアンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」に広報委員がインタビューするコーナーです。



議会広報紙モニター 高橋 広野 さん

Q：議会広報紙のモニターになっていかがでしたか

A：いままで「市議会だより」は表紙の写真を見

るくらいでしたが、届くたびに読むようになり、だんだん地域の様子や問題がわかるようになって来ました。関心をもたないといけないと思ってモニターを引き受けましたが、結果として良かったです。

Q：議会や行政に望むことはありますか

A：我が家には4歳と5歳の娘がいますが、運よく2人とも保育園に入れました。兄の子どもは、年度途中のため保育園に入れなかったことから、保育園が足りていないと感じます。

子育てをスタートしたときはアパート暮らしだったので、知り合いもなく、孤立していました。子育てサポートや「絵本の読み聞かせ」などで交流は広がりましたが、核家族世帯の子育ては本当に大変だと思います。夫は協力してくれますが、仕事柄、全てを任せることはできません。発熱すればお迎えに行かなければならず、仕事を辞める人も多いと聞くので、「病児保育」の充実についてもお願いいたします。

(インタビュアー：川上委員)

Q：議会広報紙モニターを依頼されていかがでしたか

A：一市民の自分がモニターを依頼された責任の重要さに驚き、「とちぎ市議会だより」をくまなく読んでいます。とても分かりやすく、市政に関心が向きました。今後は本会議の傍聴にも行きたいと思います。

Q：専業農家として栃木市に望むことはありますか

A：農業の現場をたくさん見て、聞いて、質問して、どのようにして作物が育つのかを学び、食べ物の大切さを理解し、農業への興味を持たせる学校教育をより一層取り入れてほしいと思います。

Q：お孫さんの面倒を見ているなかで、栃木市に望むことはありますか

A：少子化の現代、子どもたちが安心・安全な場所で“遊び”を体験でき、学習意欲を高められる施設づくりを考えてほしいです。例えば、子どもの遊び場など、小さくても良いので、夢を持てる人材を育てる施設づくりを市政に取り入れ、活気あふれる栃木市にしてほしいです。

(インタビュアー：関口委員)

MONITOR INTERVIEW

12



議会広報紙モニター 和田 操 さん

## ▶ インターンシップ受け入れ（白鷗大学2年生）



小平議員（右端）と代表者会議を傍聴する3名の学生

本年2月よりおおよそ2か月間、若年層の政治的関心を高めてもらうべくインターンシップ生の受け入れを行いました。

実際に本会議や議員研究会を傍聴したインターンシップ生からは予算や教育について関心が寄せられ、今後はそれぞれの地域で、幅広い世代を対象とした活動を実施していきたいとの声がありました。

議会としても今回のインターンシップ生受け入れで得られた意見などを参考に、若年層の議会や議員に対する関心を高め、議員のなり手不足解消の一助となるような活動を引き続き行ってまいります。

## ▶ 新たな委員会を設置しました（予算特別委員会）

栃木市議会においては、予算・決算の審査について、議案を分割し、所管の常任委員会へ付託し、審査を行っていましたが、予算・決算の審査について、専門性を高め、充実した審査を行うため、議会改革検討委員会において審査方法の見直しについて検討を行い、平成31年度当初予算の審査から「栃木市議会予算特別委員会」を設置し、審査を行いました。

なお、県内では14市議会中9市議会において、予算を専門的に審査するための委員会を設置し、審査を行っています。



市長出席のもと、当初予算の説明を受けました

## ▶ より進んだ取り組みを学ぶために（議会運営委員会視察研修）



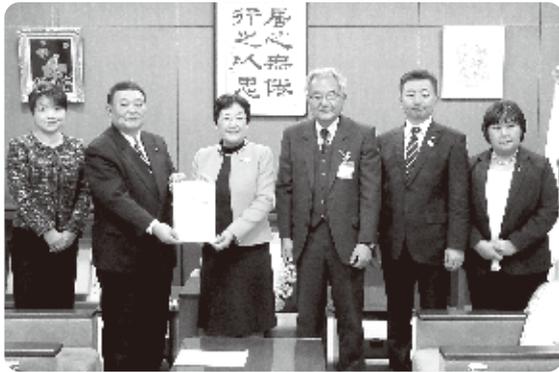
伊勢市議会で丁寧な説明をいただきました

### 1/22～23 三重県伊勢市議会・亀山市議会

伊勢市議会では、議会の在り方調査特別委員会の設置や予算・決算特別委員会など、今後の本市議会の運営に反映させるための有効な手段を学びました。

また、亀山市議会では、議会改革推進会議の取り組みや予算決算常任委員会について説明を受けた後、質疑応答を行いました。

## ▶ 皆様の声を市長に届けました（議会報告会提言書）



大川市長に提言書を手渡しました

詳しい内容は市の  
HPに掲載してあるよ。



市内8カ所、各常任委員会および子育て世代と実施した議会報告会（意見交換会）において、市民の皆さまからいただいた意見をまとめ、今後の市政運営に生かしていただくよう、市長へ提言いたしました。

### 市長に提出した提言事項

1. 安心して利用できる斎場の早期建設
2. 給食費無償化実施における市民への説明
3. とちぎメディカルセンターしもつがの充実（産科開設）
4. 通行者の安全に配慮した計画的な道路整備
5. 子育て環境の充実
6. 安心・安全なまちづくり
7. 創業支援の充実

## ▶ 議会機能をさらに高めるために（議会改革検討委員会）

議会報告会の開催やタブレット端末の導入など、様々な議会改革に取り組み、今年度は予算特別委員会を設置しましたが、さらなる問題解決のために、新たに4項目の議会改革検討事項を選定しました。

今後は2つのワーキンググループにおいて課題の抽出や意見の整理を行い、次なる改革案を進めてまいります。

なお、松本委員長と青木副委員長はオブザーバーとして参加いたします。

### A 班（千葉・大谷・大浦）

#### ①危機管理

- ・災害時における情報共有化の仕組み作り
- ・栃木市議会緊急時災害マニュアルの作成

#### ②一般質問

- ・議場でのスクリーンの活用
- ・傍聴席及びテレビカメラ向けのフリップの利用

### B 班（古沢・針谷正・白石）

#### ①予算特別委員会の検証

- ・3月定例会終了後、実施結果を検証し、決算に向けて検討

#### ②自由討議

- ・「自由討議の試行実施に関する申し合わせ」を更に研究し、本格実施を目指すモデル委員会を設置



表紙の写真

## 未来に向かって飛躍

3月に行われた藤岡地域の部屋小学校の卒業式の様子です。

小学校1年生から6年間、ともに学んだクラスメイトやお世話になった先生、校舎とのお別れの時を迎え、これから進む中学校への期待や希望を胸に抱きながら、それぞれが旅立ちの門出を祝福していました。

進学先は藤岡一中・二中・大平南中と分かれてしまいますが、6年間で得られた達成感と新たな出会いへの胸のときめきを忘れずに、大きく羽ばたいていただきたいと思います。

（表紙担当：福富委員長）



## みなさんの意見・要望等を議会に提出することができます

市民の皆さんは請願書・陳情書により、市議会に対して政治や行政に関する意見や要望を述べられます。

市議会議員の紹介があるものは請願書、ないものは陳情書として受け付けます。

### 表紙

〇〇〇に関する請願書（陳情書）  
 請願人（陳情人）  
 住所 栃木市〇〇町〇番〇号  
 氏名 栃木太郎  
 外〇名  
  
 紹介議員 〇〇〇〇  
 栃木市議会議長〇〇〇〇様

### 内容

〇〇〇に関する請願（陳情）  
 1.請願（陳情）の趣旨  
  
 2.請願（陳情）の理由  
  
 令和 年 月 日  
 請願人（陳情人）  
 住所 栃木市〇〇町〇番〇号  
 氏名 栃木太郎 ㊟  
 栃木市議会議長〇〇〇〇様

- 要旨は簡潔明瞭にまとめて下さい。
- 請願（陳情）の要旨で場所を特定している場合は地図や略図を添えて下さい。
- 提出年月日を記入し、議長あてとして下さい。
- 押印をして下さい。（多人数で提出する場合は、必ず代表者を決め、署名簿は本文の後に添えて下さい。）
- 請願の場合は、1人以上の紹介議員が必要です。

### 〇意見陳述について

請願・陳情の提出時に意見陳述を希望するかどうかをお伺いします。

提出者が希望する場合には、議会運営委員会において実施の可否を決定し、ご連絡をいたします。

## 傍聴にお越しく下さい

### 6月定例会の予定（変更になる場合があります）

日	月	火	水	木	金	土
6/2	3	4	5	6	7	8
				新聞折込	本会議 議案等提案	
9	10	11	12	13	14	15
		本会議 「一般質問」				
16	17	18	19	20	21	22
	委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)					
23	24	25	26	27	28	29
			本会議 議案等採決			

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、6月6日（木）に新聞折り込みを予定しています。

オレンジ色の新聞折り込みチラシ裏面の「一般質問」をチェックしてください。身近な話題があるかもしれません。

ぜひ、本会議の傍聴にお越しく下さい！

### 3月定例会の傍聴者は・・・

のべ171人でした。

### 栃木市議会広報委員会

3月議会において、平成31年度当初予算が一部修正の上、可決されました。

議会は大切な予算が市民の皆さまの意思を反映し、適正に執行されるよう、監視、けん制する重大な責務を担っています。

そのため、今回から予算特別委員会を設置し、より中身の濃い審査を行いました。

また、「市議会だより」は議会と市民の皆さまをつなぎ、議会の活動を皆さまにお伝えする重要な広報紙です。

わかりやすく、身近な市議会だよりを目指し、今後も市民の皆さまにご愛読いただけるよう、委員一同、研究してまいります。  
 （梅澤米満記）

委員長  
副委員長  
委員

福富善明  
浅野貴之  
小平啓佑  
小川均  
川上均  
大浦兼政  
古沢ちい子  
内海成和  
関口孫一郎  
梅澤米満  
鯉沼孝雄  
古澤悦夫  
写真アドバイザー

議会だよりは目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。<TEL:0282-21-2505>